

通所介護 足原のぞみ苑 デイサービスセンター
令和 4 年 度 事 業 計 画

1 基本方針

利用者が、住み慣れた地域で豊かな在宅生活を送れるよう、各部署と協力・連携をして、身体面・精神面・環境面等の様々な側面から自立支援を行う。

日々の生活の活動範囲が拡大し残存機能を発揮できるように「機能訓練」を積極的に行い明確な目標設定が実現できるように努める。

感染症などが発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスを安定的・継続的に提供していく。

職員の専門性や技術の向上を図り、やりがいを持つ事で仕事への意欲を高める。また働き甲斐があり働きやすい職場環境を作っていく。

平均利用者数の目標を25人とし、デイサービス職員全体の目標と意識できる様に努める。

2 事業計画

① 自立支援

- 1 認知症の利用者の対応方法に対して職員が専門性を磨き、支援の質を高めることで利用者が落ち着いた環境で過ごせるよう努める。
- 2 受動的プログラムから能動的プログラムへと転換を図り、達成感を味わうことで自立支援に繋げる。
- 3 レクリエーションではグループを細分化し要介護状態に応じた細やかな支援を行う。

② 健康管理

- 1 アセスメントの実施、既往歴などを把握、体調不良等の早期発見を徹底する。
- 2 手洗い、消毒、換気等の徹底により感染症を予防する。
- 3 新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、利用者に情報を的確に伝え感染予防に努める。
- 4 利用者が自宅でも出来るよう日常生活に有効な健康講座の実施。
- 5 他職種、他事業所、家族、主治医との連絡・連携の強化・協力を行う。

③ 機能訓練

- 1 在宅生活が続けられる為の生活に沿った個別機能訓練の計画、実施、評価を行う。
- 2 バーセルインデックスを用いたアセスメントから ADL の評価を数値化し維持・改善を目に見える形で捉える事で利用者の状態を把握する。

④ 職員教育

- 1 キャリアパスの推進。
- 2 新規採用職員に対し、採用時研修を採用後速やかに実施する。
- 3 施設内研修の年間を通じた計画を立て、職員として必要な知識と技術の向上を目指す。

⑤ 地域支援

- 1 生活相談員は防犯パトロール、町美化活動、文化祭への参加など感染対策を行いながら町内活動に参加することで地域貢献活動を行う。

⑥ 家族交流

- 1 日々の生活の中で、ご家族が介護の悩み事に対して職員と一緒に考え、解決できるように支援していく。
- 2 苑内行事や苑外行事は、新型コロナウイルスによりご家族が参加できる事が難しいが、代用できる物を企画することで取り組みを行う。

⑦ 職場環境

- 1 年間2回面談を行い、職員の話聞くことで信頼関係を深め、安心して働くことができる職場づくりを目指す。
- 2 現在の人材でどう量的に対応するのかを考えるだけでなく、効果の高いケアシステムを構築することで、職員の負担軽減を図る。
- 3 ハラスメント対策の重要性を正しく理解できる様、研修を行い健全な職場環境に努める。

⑧ 事業目標

- 1 平均利用者数を 25.0 人とし、部署職員全体の目標と意識できるよう月平均が見える化する。
- 2 利用キャンセル減少の工夫と柔軟な体験利用等による新規利用者の開拓を行う。
- 3 家族の負担軽減・生活維持の必要性に応じて短時間利用から時間延長までの幅広い受入れを行う。